

【重要】

保育園での新型コロナウイルスの対応について【3月22日版】

昨日、1都3県の緊急事態宣言が解除となりましたが、感染者数のリバウンドが懸念されるなど、まだまだ安心のできない状況です。また、宮城県・仙台市では独自の緊急事態宣言が先日発令されました。それを受け年度末ではありますが、新型コロナウイルスについての対応を更新いたします。進級・進学に期待を膨らませているこの時期に、窮屈な思いをさせていただきますが、安心安全な保育園運営のためにご理解ご協力くださいますようお願いいたします。

うつさない！うつらない！
～新型コロナウイルス感染症～
いま私たちにできること

【保護者の皆様へお願いしたいこと】



① 2週間の登園自粛をお願いするケース

（東京・神奈川・埼玉・千葉【県通知】・宮城【独自の緊急事態宣言】）

- ・園児本人が同居家族と共に上記地域と往来する場合
- ・県で自粛を呼びかける上記地域から帰省する家族と同居する場合（同居開始日から2週間）

県通知はこちらから
ご確認ください。

② 2週間の登園自粛協力を除外するケース（以下の場合は訪問時の衛生対策の徹底、
帰宅後の体調管理にも十分注意をして下さい）

- ・同居家族のみ（園児本人は行かない）が県通知の上記地域へやむを得ない訪問をする場合
（出張等の仕事・各種試験の受験・就職活動・葬儀・介護等）

※県通知に宮城県は入っていませんが、独自とはいえ緊急事態宣言が発令されたことを踏まえ、県通知の地域と同様の対応とさせていただきます。

③ 引き続きのお願い

- ・37.5度以上の熱の場合は、登園・来園（送迎時含む）をご遠慮ください。
- ※24時間以内に37.5℃以上の熱（※コロナ収束まで）が出ていた場合も登園をお控えてください。
- ・園内に入る際は、**キエルキン（弱酸性次亜塩素酸水）の手指・衣服・荷物等への散布**と、**サーモゲート（非接触型体温検知器）による発熱確認**を必ず行うようお願いします。
- ※サーモゲートについて、気温や日光の加減等により反応が鈍いことがあります。できるだけ近づいて検温してください。また、メガネとマスクをしていると反応しないことがあります。その際は、マスクを少しずらして検温してください。

【保育園ができること】



- ・手洗い、手指消毒の励行
- ・ドアノブ等の共用部やおもちゃの消毒徹底、換気励行
- ・園児の健康観察の徹底（37.5度以上の場合、保護者へお迎えのお願い）
- ・出勤前、勤務中の検温・マスク着用
- ・職員が37.5度以上の熱の場合は出勤停止・県外への不要不急の往来自粛⇔往来の際は事前申請
- ・園内立入者への検温（サーモゲート）・手指消毒等の徹底



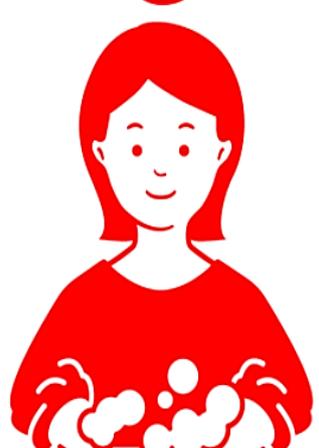
あわあわ
手洗いのうた

手の洗い方

Hand wash

PAND«AID
TO PROTECT LIVES FROM PANDEMICS

これで完璧 **45秒** で手洗い




 1 手を擦らし、石鹸をつけてよく泡立てる

 2 手のひらから擦る

 3 手の甲を擦る (両手)

 4 両肘と手の関節を擦る (両手)

 5 指の関節を擦る

 6 親指をおおむね90度に擦る (両手)

 7 手首を擦る (両手)

 8 水でよく洗い流す

 9 タオルなどで乾かす

 # または10秒で洗い15秒すすぎを2回行うのも効果的

手の消毒

Hand wash

PAND«AID
TO PROTECT LIVES FROM PANDEMICS

これで完璧 **60秒** で手指消毒




 1 手のひらに消毒液をのせる

 2 両手、両の関節に消毒液を擦り込む (両手)

 3 手のひらに擦り込む

 4 手の甲に擦り込む (両手)

 5 指の関節に擦り込む

 6 親指におおむね90度に擦り込む (両手)

 7 手首におおむね90度に擦り込む (両手)

 # 消毒液が足りない場合は追加する

※下記
QR 参照



手洗いの時間と回数

手洗いの方法	残ったウィルスの数
手洗いなし	約100万個 (100%)
流水で15秒手洗い	約1万個 (約1%)
ハンドソープで10秒又は30秒もみ洗いした後、流水で15秒すすぎ	数百個 (約0.01%)
ハンドソープで60秒もみ洗いした後、流水で15秒すすぎ	数十個 (約0.001%)
ハンドソープで10秒もみ洗いした後、流水で15秒すすぎを2回繰り返す	約数個 (約0.0001%)

出典：森功次他 感染症学雑誌、80-496-500,2006 <http://journal.kansensho.or.jp/Disp?pdf=0800050496.pdf>

なるべく頻繁に・正しく手を洗おう

表の国立医薬品食品衛生研究所の研究は、手洗いによってどの程度ウイルスが除去できるのか示しています。

例えば「手洗いなし」と比べると、「流水で15秒手洗い」するだけでも、ウイルスを100分の1にすることができます。これに「ハンドソープでもみ洗い」を加えると、1回の手洗いでウイルスはさらに100分の1になります。流水だけでもかなり効果はありますが、やはりせつげんと流水による手洗いがベストということが分かります。

そして、「ハンドソープで60秒もみ洗いした後流水で15秒すすぎ」した場合と、「ハンドソープで10秒もみ洗いした後流水で15秒すすぎを2回繰り返す」場合とを比べると、後者の方がより多くのウイルスを除去することができます。つまり、長時間念入りに手洗いするのも大切ですが、手洗いをなるべく頻繁に行うのが何よりも効果的ということです。

とはいえ、どれだけ頻繁に手洗いしても、手に洗い残しがあつてはその部分にはウイルスが付いたままになってしまいます。動画を見て正しい手洗い方法を学び、しっかりと手洗いして自分と周りの人を守りましょう。